

令和4年度綾部市創生有識者会議 議事概要

日 時：令和4年11月24日（木）13時30分～15時45分

場 所：綾部市役所本庁舎3階第一委員会室

出席委員：伊藤丈二、櫻井和行、四方憲生、白波瀬聡美、永井智子、中田康之
中村俊治、林多嘉子、真下加奈子、山崎栄市、山中史香、吉田勝、山崎清吾

欠席委員：一瀬健太、井本一寛、滋野浩毅、高倉正明、前本和輝、村上静代

綾 部 市：岩本市長公室長、上原市民環境部長、大石福祉保健部長、
大島農林商工部長、朝子定住交流部長、四方建設部長、上原消防長、
柳田上下水道部長、高橋議会事務局長、大槻教育部長

事 務 局：企画総務部 吉田部長
企画政策課 村上課長、梅原担当長、大槻会計年度任用職員

記 者：1名（京都新聞社 青山智耶）

傍 聴：0名

配布資料：・次第

・委員名簿

【資料1】綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況（令和3年度評価）

【資料2】綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況・効果検証

【資料3】綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（KPI）
実績評価一覧

【資料4】令和3年綾部市転入転出状況

【資料5】地方創生に係る国の交付金（地域再生計画）の進捗状況・効果検証

【資料6】地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金事業一覧及び重要業績
評価指標（KPI）実績評価一覧

【資料7】綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し

1 開会

2 委員紹介

3 座長（山崎副市長）挨拶

4 協議事項

- ・綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証
 - ・地方創生に係る国の交付金（地域再生計画）の進捗状況・効果検証
 - ・綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の修正
- 資料に関して事務局から一括説明。各委員からの意見は以下の通り。

<意見・質疑応答>

【綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について意見・質疑応答】

委員：観光へのコロナの影響は大きく、指数も予想通りの数字と感じている。しかし、この夏以降徐々にイベントも増加しており、市長からも迷ったら実行することを掲げて頂き、非常に有り難い指針であった。秋以降は特に地域や民間団体のイベントが増えており、綾部市の観光の底力となっていると感じている。今後の施策に関して、イベント支援を行政的にも充実、ソフト人材の育成についても視野に入れて行っていったらと思う。

この頃の観光では「グリーンツーリズム」が加速しており、生き方や暮らし方を見直す志向が高まっている。これは個人単位の動きであって、入込客数だけで計れないような観光のニーズが増えているので、指標だけに囚われない、深い志向を持つ方を綾部市に呼び込むような施策を考えてもよいと思う。

委員：【資料4】について、転入・転出状況の資料が分かりやすい。他市との比較においても、20代で出る方がいる一方、30代で戻ってくる方もいるので、ここを強化するとグラフのバランスが変わってくると思う。施策の一つ一つに強弱をつけて、グラフの差引を表す緑の折れ線が全体的に上にいけばよいと思う。

委員：綾部市は、言葉がよいのか分からないが年齢・経験を問わない、スキルと能力で判断するといった良質な求人が多い。京都市内の雇用状況は、求職者はいるが、敬遠されるような業界が中心で良質な求人がない。一方、綾部市は、製造といった日本で根幹をなすような求人があるが応募に繋がらない。30代になると戻り方がいると話があったが、我々は20代が一念発起をして、同じような仕事があるなら京都市内ではなく綾部市でもよいのではないかという展開ができれば、お役に立てると思う。

オンラインでの面接が増えて、内定になったら綾部に来てもらうというスタイルが定着してきている。アフターコロナでよい所は残して就職支援ができれば【資料4】の棒グラフも少しは変わっていくのではないかと。

座長：綾部市の有効求人倍率は北部の中でも一番高い部分を占めていると認識している。福知山市と綾部市全体での統計で数字を見ると下がるが、綾部市だけを見ると高い数字が出ている。やはり綾部市は求人募集している企業が多いがなかなか結びつかないという状況である。

委員：子どもの人数が年々減少している数値が出ていたが、妊娠・出産する保護者が増えている。皆さん妊娠・出産・子育ては安心してできている印象がある。特に三人目、四人目が生まれる家庭も最近では多い印象。これからは結婚へのサポートが必要だと思う。子どもの数は一人目の出産が減っているのではないかと。コロナの影響、出会い・結婚に二の足を踏んでいるようなところがあるので、婚活支援にも力を入れるべきだと思う。

先日、高校での子育て学習にて、先生と話をしていると高校生でも自分をアピールできる子が少ない、結婚できないと発言する子が増えているとのことであつた。学校での学習にもオンラインを減らして、生の体験・学習に戻したりして、体を動かして生のコミュニケーションを多く取るような教育を意識してもらいたい。婚活のサポートも考えていけたらと思う。どうしても大人中心の便利な世の中になってきているのが、最近気になるところである。

委員：特産館とグンゼスクエアは集客をする施設として、コロナ禍で計画を下回ってきているが、令和2年度と令和3年度を比べると少し戻ってきている。令和4年度に関しては売上や入込客は増えてきている。コロナ前の令和元年には、グンゼスクエアに観光バスが300台ほど来ていた。令和2年にコロナがなければ、凄い入込客になっていたと予想していたが、実態はコロナの影響で売上も入込客も減っている。但し、特産館の運営に関わって、令和2年度、令和3年度共に令和元年度より売上が下がってきているがコロナ禍でも収益が一定確保できた。

工業団地に立地されている企業で、従業員が増えて、二、三年前に「綾部市に住むところがない」という話があり、近隣の福知山市や舞鶴市に住まいを持たれる方がいたという。綾部市に住むところが確保されていれば、確実に転入者としてカウントされたであろう人達が【資料4】のグラフには恐らく反映されていないと思う。

人手不足の話が出ていたが、確実に売り手市場という状況である。職を探している方からすると良い状況であるが、企業からすると慢性的な人手不足が続いている。例えば飲食業、建設業、製造業は以前から退職者の雇用延長や定年の延長、外国人労働者の雇用を行っている。但し、現在の円安の状況で外国人労働者を集めることも難しい。このようなことが今の綾部市の課題だと感じている。

座長：住宅と労働者の確保が大きな課題。住宅確保については、福知山市や舞鶴市に流れているように感じるが、土地がなかなか見つからない状況で、市役所の中でも重点課題として進めているところである。

委員：まず婚活イベントについて、市の補助金を受けて9月と11月に婚活イベントを実施した。1回目はラジオと新聞で告知をしたが、あまり期待する人数ではなかった。2回目は1回目より参加される方がいたものの、二年前に、喫茶店で開催されたイベントでは、男性15名女性15名の参加があつた。マッチングアプリでご縁がある方もいると思うが、私たちが思っているラジオや新聞で呼びかけると参加が募れるという状況が変化してきたと感じる。婚活イベントに何度か参加することで、自分自身にも力がついて結婚にたどり着くことがあると言われているので、今後も色んな形を変えて開催できたらよいと思う。

昨年に続いて今回2回目の綾部市議会「綾部市の未来について考える会」が

豊里中学校で実施された。昨年、中学生に「綾部市に戻ってくるか」聞いたところ、半数が一旦出るけど、戻ってくるという話があった。しかし、今回はもう戻ってこないということで、先生たちは、豊里では小学校・中学校と連携して豊里について勉強していたので、もう少し反応がよいと思っていたと話していた。今、教育されていることは、市外の大学へ行って就職してまた帰ってくることに繋がると思うので、学校教育の中でも続けて欲しいと思った。最後に、中学3年生に残念なことと良いことを聞くと、残念なことは、豊里にはお店や遊ぶ場所がない。良いことは、三年ぶりに開催された水無月まつりへみんなで見に行けたことと言っていた。コロナ禍で難しいかもしれないが小学生・中学生・高校生が参加できるようなイベントや綾部市について考える会議の中でも学生の意見が聞いてもらえるような場があればよいと思うし、若者と行政が一緒にされていることがあれば教えてもらいたいと思った。

座長：子どもたちに教える場面は大事だと思う。イベントの開催もコロナ禍ではあるが、市長も言うように迷ったらやる今の姿勢が大事。市長が行っている「ふるさと教育」は、故郷は裏切らないという強い意味合いを持つものなので子どもたちに伝えていきたい。

委員：【資料3】No.29「あいアカデミー等各種講座への参加者数」が35.8%と非常に低い。あいフェスティバルは市と市民の合同の事業を2年に1回実施している。今回は講師の方が良かったのか非常に多くの方に来ていただけた。あいアカデミーについてもずっと開催しているが、講師によって参加人数が変わることがある。あいアカデミーを行政の中だけでなく市民の実行委員のような方を含めて提案ができる講座の開催など検討していきたい。

座長：あいフェスティバルは久しぶりの開催なので、たくさんの方に来ていただき良かったと思う。私自身も男女共同参画審議会の関係に関わっているので、検討していきたい。

委員：人口減少をどう食い止めるのかについて仕事柄考える。何か綾部市独自の綾部市に住むメリットを作るべき。後は、たくさん求人があるにも関わらずもったいないので、福知山市や舞鶴市に行かれている方を是非綾部市へ。住宅地についても行政と地主と全体で積極的にまちづくりができたらと思う。

委員：人口減少が気になる。綾部市には、工業団地があり、働き手がたくさんある。その方々をいかに綾部市へ住民票を移してもらうかが重要だと思う。綾部市は、子育て世帯に対する手当が厚いと聞く、住みやすいまちづくりへの整備として、買い物や食事をする場所などの環境の整備についても取り組んではどうか。

委員：皆さんと違う意見になるかもしれないが、今の子どもたちの現状について説明したい。以前は中丹地域の生徒は中丹地域で就職するという傾向が10年前には

あった。しかし今では京都や大阪へ行く生徒が多い。求人は多いが行きたいところがないと生徒たちは言う。ICT やファッション系に夢を抱く子が多い。求人があっても生徒が望むものがないという傾向が今年は見られた。コミュニケーション能力について話をされた方もいたが、確かにタブレットを使った教育が多くなっている。その中で、綾部高校東分校では即売会で生徒たちが地域の方と話をし、様々な力を身につけてもらう取組を実施している。色んなところで生徒たちが活躍できる場を作ってもらえたらと思う。今の生徒たちには、一度都会に出ても戻ってきて綾部市に住んでもらう、帰ってきたいまちというスタンスの方が良いと思う。

委員：若者に U ターン・I ターンをしてもらうことが人口を増やす上でも大きいと思うが、人口増対策はどここの市町でも行っている。月に一回、市長会見はどここの市町でもあるが、市長会見の場で各企業の代表や担当者が来て、新商品の発売や工場を建てたなどの報告を行っている市町がある。全国紙の記者は減ってきているので、こういった場で発表すると各誌に掲載が広がることもある。記者がいる場での市内企業の PR があってもよいと思う。

座長：綾部市も市長会見を月に一回行い、PR には努めている。企業と一緒に PR を行うのも一つのアイデアだと感じた。

担当部長：【資料 4】の年齢階層別転入転出状況（令和 3 年）について、25 歳～49 歳の子育て世帯が増えているのに、0 歳～14 歳の子どもが減っており、これをどう分析するか悩んでいた。話を伺う中で、働く場所はたくさんある。子どもを複数産む人は増えているが、一人目を産むことが課題。婚活も必要ではないか。また、働く場所がたくさんある中で、不動産業者からワンルームマンションが足りない聞いた。つまり、工業団地で働く方は独身が多いのではないか。綾部市には働く独身が多いことと婚活の必要性に何かヒントがあると感じた。京都市内へも綾部市で働くことを PR していただく話もあった。多様なニーズに対応する交流の場が必要との話もあったので、ソフト面と新たに住む場所のハード面の両方を持っていくことも大事。

担当部長：日本人の志向が変化しており、オーダーメイドの観光の話も出たが、市内では農泊と寺泊がある。綾部市のように尖った観光地がないところでは、農泊などの体験が貴重になってくる。色んな意味での尖ったところを活かしていけたらと思う。

来年にあやべ 3040 成人式を実施する。20 歳になると成人式で綾部市に一度戻ってくるが、60 代の定年後の移住・定住を引っ張るのではなく、30 代、40 代の故郷へ戻るきっかけを作り、その方を中心に綾部市でのイベントを予定している。

住宅関係では、単身のアパートの不足の話があったが、現在、市内で数十戸

単位の建設中となっている。

ふるさと教育では、市長が全中学校を回ってふるさと講座を行っている。市長としては、一回出て勉強してこいと考えている。帰りたいた時は、故郷は裏切らない、綾部市は待っていると子どもたちに伝えている。

第6次綾部市総合計画を作成する時に、これまでは一般市民へのアンケート調査を行っていたが、今回の計画の取りまとめについては中学2、3年生全員にアンケート、高校生との意見交換、工業団地の従業員へのアンケートを取るという取組を行った。

今回の創生有識者会議については、人口減少問題を見直す会である。市長は、人口減少対策として「緩和策」と「適応策」がこれからは重要と言っている。今の主な創生有識者会議の内容は、現実として出生率の向上などが取組として多いが、今後は人口減少にも耐えられる適応策を考えていかなければならないと進めている。このように色んな取組を進めるので、これからもご意見を賜りたい。

【地方創生に係る国の交付金（地域再生計画）の進捗状況・効果検証について質疑応答】

座長：国がまち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に見直して、デジタル田園都市国家構想の総合戦力に置き換える話がある。綾部市でも「綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」という名前が変わってくる可能性がある。具体的な施行については国から通知がない。「地方創生推進交付金」の名前も変わるのではないかと思う。国の動向を注視し、今後置き換えることとなれば、この会議でも報告をしたい。

5 『綾部市 PR 動画』の視聴

6 閉会